

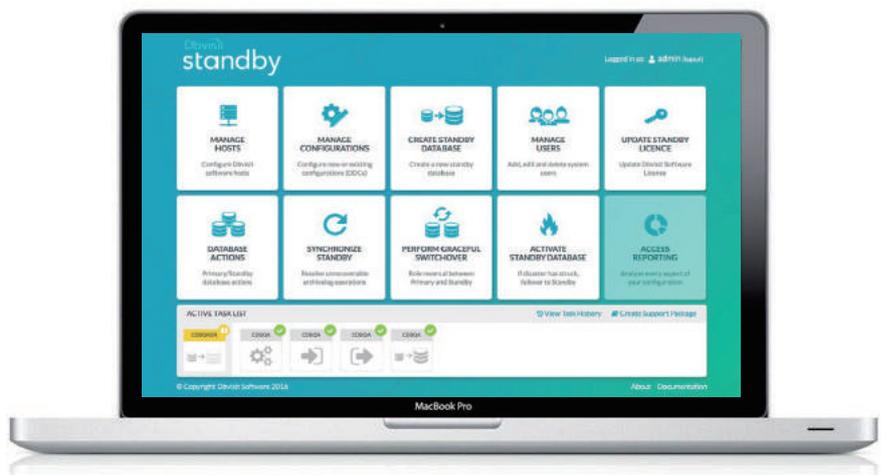


Dbvisit Standby: Oracle デザスタリカバリソフトウェア

Oracleデータベースで実現するBCP スマートDRソリューション

今日の知識経済では「重要なデータを保護すること」は、企業にとって欠かせない課題となっています。重要なデータを損失するリスクのない場所へ持つこと、そして緊急時でもスムーズに復旧する術を確立しておくことは、ミッションクリティカルな業務にはとても重要となっています。

『Dbvisit Standby』は110以上の国々の1,300以上のお客様に信頼され、ハードウェア障害、ロジカルエラー、自然災害、人為的な不具合、停電などのさまざまな障害から重要な情報を保護してきました。Oracle Data Guard の代替案として、Oracle Standard Edition (SE1,2含む) をより効果的に活かすことが出来ます。Oracle Standard Edition の為に作られた、導入も運用も驚くほど簡単なDRソリューションです。ライセンス・サポートコストを最大80%削減することが可能になり、Enterprise Editionへのアップグレードは不要になります。



シンプルシティ

『Dbvisit Standby』は、GUIとコマンドラインの両方からアクセス可能で、とてもシンプルな手順でインストール・構築・管理することができます。スタンバイデータベースと環境を自動で作成し、『Dbvisit Standby』内の全てのツールやプログラムは、効果的簡単に運用・管理する為にデザインされました。

- 段階的に説明されたインストール手順
- 簡単なレクリエーション(スタンバイデータベースのテンプレート機能オプション)
- スタンバイデータベースの構築はカスタマイズ可能
- 管理タスクのスキプトの作成・バッチモードでの実行の選択
- KPIの作成とレポート
- 問題解決の為にしきい値設定と自動通知
- プライマリー、セカンダリーデータベースのログファイルの自動管理

充実した機能

『Dbvisit Standby』は、Oracle Data Guardの機能(フェイルオーバー、スイッチオーバー、RAC、ASM、OMFなど)に匹敵するだけでなく、数々の高度な機能(圧縮、モニタリング、アーカイブログ転送時の暗号化など)も組み込んでいます。

- 遅延スタンバイデータベースの更新
- 復旧不可能なアーカイブログギャップの復旧
- スタンバイデータベースでのレポートティグ、バックアップ、ビジネスアナリティクスの実行
- プライマリー/スタンバイデータベース間での、異なる構成に対応
- Linux、Unix 上での Rsync トランスファー
- 自動ログ再送、データベース再構築 (リビルド)

確実な安定性

障害が発生した場合でも『Dbvisit Standby』なら、数分以内にスタンバイデータベースにスイッチオーバーすることで、アプリケーションを確実に実行し、復旧遅延・他システムへの過剰な負荷・ハードウェアの非有用性から救うことができます。データベース内の全ての変更をスタンバイデータベースにレプリケート(複製)します。『Dbvisit Standby』は、安定性を第一に考えデザインされました。

- 操作不要で自動継続可能
- 安定した暗号化コミュニケーション
- スピーディーなサポートを実現するトレースファイルを作成
- データベーストリガーを使用する事なく、運用とパフォーマンスへの影響を回避

対応環境

Oracle Database

11gR2 – 12c (32 & 64bit version)

Oracle Edition

Enterprise Edition
Standard Edition (SE, SE1 & SE2)
Express Edition

Storage

ASMファイルシステム

Operation System

Windows: 2008 (64bit) 以上
Linux: Intel & AMD (64bit)
Unix: AIX, Solaris (対応予定)

※『Dbvisit Standby』Version 8.0 では、Oracle データベース 11.2 以降、Windows 2008 (64bit) 以降、Linux (64bit) 以降のサポートとなります。11gR1 以前への導入については、お問合せください。

お問い合わせ

株式会社インサイトテクノロジー

🌐 www.insight-tec.com ✉ insight-mktg@insight-tec.co.jp

[東京本社]

📍 150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー5F
☎ 03-5475-1450

[大阪支店]

📍 530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪 ナレッジキャピタル タワーC 11F
☎ 06-6359-1450

[札幌開発センター]

📍 060-0005 北海道札幌市中央区北5条西6丁目2-2 札幌センタービル 14F
☎ 011-211-4886